



ハワイ——久米島

8月15日から22日まで、久米島町ハワイ交流団(団長 平良朝幸町長 ほか6名)はハワイ島を訪問しました。今回の主な目的は、久米島の将来を担う中高生の人材育成をどのように進めていくのかを検討するため、ハワイ島内の学校を視察することです。

8月16日にはハワイ州ハワイ島にあるハワイ大学ヒロ校を、ヒロの姉妹都市である名護の稲嶺市長と共に訪問しました。今後は久米島の中学生、高校生がコナと交流し、将来的にはヒロ校への進学・交流も視野に入れています。

ヒロ校では、ストラニー学長、サイモン副学長、名護市長、平良町長ら15名で意見交換が行われました。ストラニー学長は「ハワイや沖縄のような島国は、協力し合い絆を深めながら互いに発展し、自分の地域に還元していかなければならない」と、ヒロ校が沖縄の名校大学を始め、アジアや幅広い地域との国際交流に力を入れていることを力説しました。

この他、ハワイコミュニティカレッジや私立小中学校、公立高校2校の調査訪問をしました。またケノイ・ハワイ郡長ら関係者との懇談会やヒロ県人会、コナ県人会、県人会ハワイ連合など沖縄県人会(久米島出身)の方々と交流し、互いの情報交換をしました。ハワイの県人会の絆、結束は強く、今回訪問した各学校との連絡調整では様々なネットワークを活かして、大変助けていただきました。

この姉妹都市提携を契機に、久米島町から



〜ハワイ交流団視察報告〜

相互交流でグローバルな
人材育成を

も国際的な視野を持つ子ども達が外へと羽ばたき、学んだことを久米島で発展させる時代が来ることを願い、今後とも様々な交流を推進していきます。



ヒロ校にて。中央がストラニー学長、サイモン副学長。左は名護大学からの留学生。